

## 大会展望

平成21年11月13日から15日にかけて、帯広市総合体育館をメイン会場として標記大会が行われる。参加校はそれぞれ各地区の予選を勝ち抜いた、男子26・女子26校の計52チームである。12月23日～29日に東京で開催される男女各1チームの全国大会の出場権をかけ、熱戦が繰り広げられる。

男子の優勝候補筆頭は、選抜優勝大会札幌地区1位代表の東海大四高校。第2シードでは北海道2位代表でインターハイ（大阪市）に出場した旭川西高校や大麻高校。第3シードでは、恵庭南高校・函館大学付属有斗や地元帯広工業高校。第4シードでは、インターハイ北海道予選大会でベスト4を果たした旭川工業高校・地元の实力校の白樺学園高校らが上位進出・優勝を各高校が目指しており、今大会が大いに盛り上がる事が予想される。

一方、女子では、今年度北海道1位代表でインターハイ（大阪市）に連続19回出場している札幌山の手高校が優勝候補であるが、インターハイ全道大会準優勝の札幌創成高校や旭川藤女子高校、地元のNO.1の实力校、帯広南商業高校も力を持っており、この3日間において、白熱した戦いが続くことと思われる。

平成21年11月7日

北海道バスケットボール協会強化委員会（文責）